



うさぎぐみだより

令和5年10月25日(水)
幼保連携型認定こども園
津田このみ学園 今在家分園

さわやかな秋風によって、キンモクセイの甘い香りが感じられる季節になりました。
散歩に出かけると、まだ緑色のカキやミカンの実を見つけ、「早くオレンジ色にならないかな」と会話をしながら、季節の変化を楽しんでいます。

お祭りごっこ

お祭りを見に行ったらAさんが、「よーいやさー」と元気な掛け声を掛け始めたのをきっかけに、他の子どもと一緒に「お祭りごっこ」が始まりました。自分達でシールを貼って作った和太鼓も嬉しそうに叩いています。Bさんは、「おおきなたいこ、どーんどん、ちいさなたいこ とん とん とん」と歌を歌いながらリズムを取り、楽しんでいました。自分達を感じたこと経験したことを友達と一緒に表現する姿が見られました。



おいもみつけた!

畑でサツマイモ掘りをしました。畑にはミミズやコオロギがたくさんいて、夢中になって追いかける子どももいました。Cさんが「おいもはどこかな〜」「あ、あったよ」と自分でサツマイモを見つけて一生懸命土を掘っていました。しかし、一人では掘り出すことが難しかったようで、横にいたDさんが「てつだうよ」と声をかけてくれて、時間はかかりましたが、二人でサツマイモを掘ることができました。「とれたよ!」「おいもでできた!」と話す二人の表情は達成感に満ち溢れていました。



ひとりでできるもん

2歳児クラスでは、ほとんどの子がトイレトレーニングを完了し、自分でトイレに行ったり着替えを済ませたりしています。3歳以上児になるにつれ、朝の準備や身の回りの片付けを自分で行い、自分の荷物は自分で扱うようになります。そこで、もう一度、持ち物や荷物の確認をお願いします。

□持ち物に名前がありますか? (子どもは色・柄だけで判断します)

名前だけでなくわかりやすいマークがあれば便利です)

□自分でファスナーやボタンが開けられるカバンですか?

サイズは大きすぎませんか? また小さすぎませんか?

□必要以上の袋で小分けしていませんか?

(大人には清潔で分かりやすいですが、子どもは中身が見えず複雑なようです)

大人が準備するのはとっても簡単です。今、子ども達が自分でやろうとしている気持ちを大事にし、さりげなく手伝う、見守ることで「できたよ」「やったね」が増えるようにしたいですね。

※子どもが自分で汚れ物を袋に入れます。

裏返しになりうまく畳めませんが温かく見守ってくださいね。

